

平成24年度
教育委員会事務点検評価報告書
(主要施策の成果に関する説明書)

平成25年 9 月
岩手県教育委員会

目 次

いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]の取組と成果-----	1
政策Ⅴ 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現-----	2
政策項目No.24 家庭・地域との協働による学校経営の推進-----	4
政策項目No.25 児童生徒の学力向上-----	7
政策項目No.26 豊かな心を育む教育の推進-----	11
政策項目No.27 健やかな体を育む教育の推進-----	15
政策項目No.28 特別支援教育の充実-----	17
政策項目No.29 生涯を通じた学びの環境づくり-----	20
政策項目No.31 文化芸術の振興-----	22
政策項目No.33 豊かなスポーツライフの振興-----	26
政策項目No.38 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備-----	30

いわて県民計画

第2期アクションプラン[政策編]の 取組と成果

岩手県では、平成21年12月に、「いわて県民計画（長期ビジョン）」（計画期間：平成21年度～平成30年度）を策定し、平成24年1月にこの計画の第2期アクションプランとして、平成23年度～平成26年度の4年間を対象とした「いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]」を策定しました。

いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]は、「政策－施策－事業」の体系により計画を推進していくものであり、政策項目（政策）には「目指す姿指標」、目指す姿を達成するための具体的な推進方策（施策）には「具体的な推進方策指標」という数値目標を掲げています。

この報告書は、いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]で定めた目標がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の平成24年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に定める点検及び評価結果の報告書となるものです。

- ・ いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]の7つの政策のうち、V教育・文化について、また、42の政策項目のうち、教育委員会が所管する7つの政策項目（政策項目No. 24～No.29・No.33）及び他部局主管項目のうち、教育委員会関係部分（No. 31・No. 38）について掲載しています。（他部局に係る記載部分は網掛けとしています。）
- ・ 目指す姿指標と推進方策指標の平成24年度実績に基づく「達成度」の考え方は、次のとおりです。

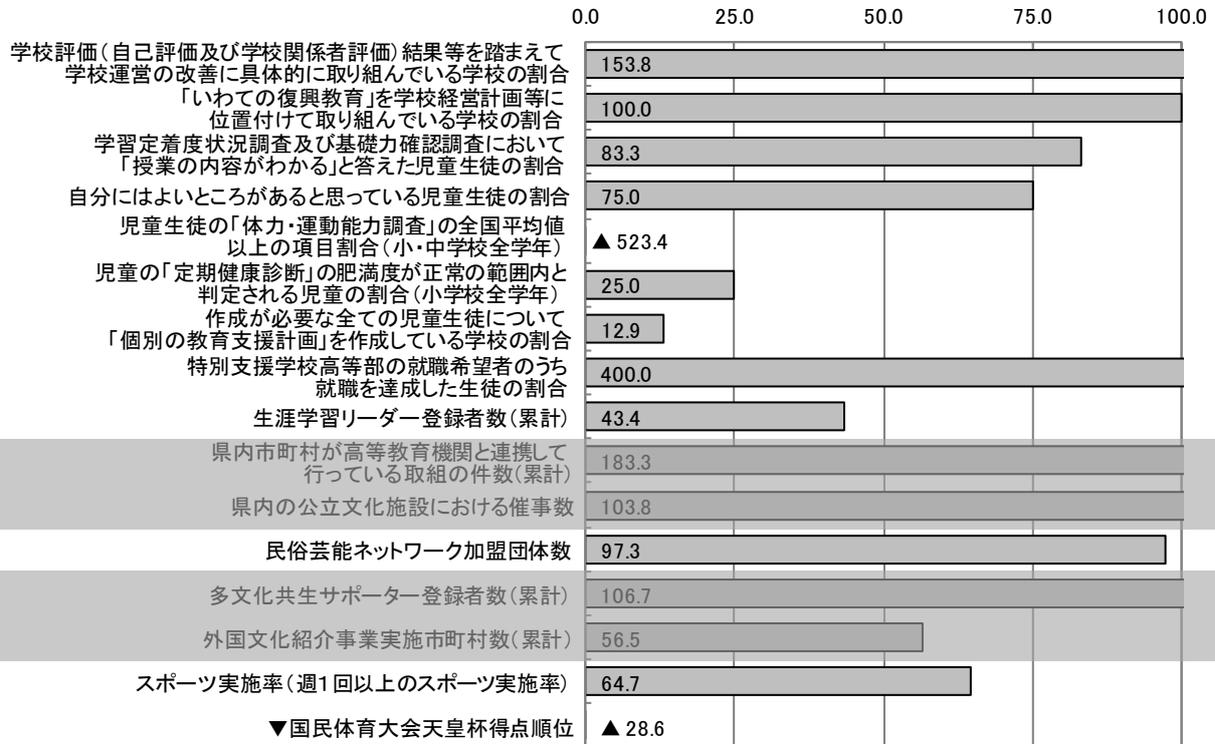
達成度の区分	年度目標達成度	■ 達成度 平成24年度にどれくらい達成したかを示す割合 ■ 達成度の計算方法 $\frac{(H24\text{実績値} - H22\text{現状値})}{(H24\text{目標値} - H22\text{現状値})} \times 100$ ※ 例外的に、基準値よりも数値を下げることを目標とする指標は、次の計算式で算出 $\frac{(H22\text{現状値} - H24\text{実績値})}{(H22\text{現状値} - H24\text{目標値})} \times 100$
達成 (A)	100%以上	
概ね達成 (B)	80%以上100%未満	
やや遅れ (C)	60%以上80%未満	
遅れ (D)	60%未満	

- ・ 数値を下げることを目標とする指標には、指標名の前に「▼」を表示しています。
- ・ 数値を維持することを目標とする指標には、指標名の前に「★」を表示しています。
- ・ 指標によっては、実績値が確定していない、新設目標であり平成24年度目標値を設定できないなどの理由で、数値や達成度を「－」としている場合があります。

V 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～

平成26年度目標の達成に向けた目指す姿指標の状況

H26目標



【未確定指標】

- 「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合

主な取組事項

■ 「いわての復興教育」の推進

「いわての復興教育」の推進を図るため、「いわての復興教育」プログラム(改訂版)を全ての学校に配付し、復興教育の推進を図ったほか、児童生徒が自然災害の危険に際して、自らの命を守り抜くため、実践的な防災教育を推進しました。

■ 数学(算数)・英語の学力向上

担当教員の指導力の向上を図るため、授業力向上セミナーの開催や英語力等外国語能力強化事業による改善研修会の実施に取り組みました。

■ 私立学校の特色ある教育活動の推進

建学の精神に基づいた学力向上や心の教育等の特色ある教育に取り組んでいる私立学校に対し、支援を行いました。

■ 家庭・地域との協働の充実

家庭・地域との協働の充実のため、地域コミュニティの再生及び活性化にむけた学びの場づくり、落ち着いて家庭学習に取り組むことができる場の確保、家庭教育支援の充実に取り組みました。

■ 教育相談機能の充実及び幼児児童生徒の心のサポートの充実

教育相談機能及び幼児児童生徒の心のサポートの充実のため、全児童生徒を対象とした「心とからだの健康観察」を実施するとともに、従来のスクールカウンセラーに加え、沿岸部の教育事務所に県外の臨床心理士を巡回型カウンセラーとして配置しました。

■ 健康教育の充実

児童の肥満防止に取り組む小学校を増やすため、研修会を通じて指導者の養成を行うとともに、学校・家庭・地域の連携による健康教育推進体制づくりに取り組みました。

■特別支援学校における教育の充実

特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒と、居住する地域の小・中学校との交流の促進等を図るため、「交流籍」※¹を活用した交流及び共同学習を実施しました。

■生涯にわたる学習機会の充実

生涯にわたる学習機会の充実のため、学びの情報提供や啓発活動、地域人材の育成や活用により、地域社会の教育力向上を図るとともに、被災した社会教育施設の復旧支援に取り組みました。

■高等教育機関の連携の促進

それぞれの高等教育機関が、その特色を生かしながら力を合わせるにより、より充実した教育や研究が行えるよう、東日本大震災津波からの復興や地域の中核を担う人材の育成、復興に向けた課題解決などの取組を支援し、高等教育機関の連携を進めました。

■高等教育機関の機能の充実及び地域課題解決に向けた取組

(公)岩手県立大学では、教員の専門性を生かした震災復興研究や地域課題研究の実施、地域の多様な生涯学習ニーズを踏まえた公開講座を開講するなど、震災からの復興や地域貢献の取組を進めました。

■豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援

児童・生徒の豊かな創造性のかん養と芸術普及のため、新進・若手芸術家等派遣事業により7団体を派遣し、14の小中学校での芸術鑑賞の実施に取り組みました。

■文化財の保存管理と活用の推進

文化財の保存のため、被災ミュージアム再興事業により、市町村が行う被災した博物館等の収蔵物の洗浄処理等の取組について支援しました。

■世界遺産登録及び平泉文化研究の推進

世界遺産平泉の構成資産の拡張のため、有識者による委員会及び国内専門家会議の開催、5か年の研究計画の策定、先端の共同研究成果の公表に取り組みました。

■被災地における文化芸術活動支援

郷土芸能復興支援事業費補助を新たに創設して、被災した郷土芸能団体の練習場所や用具等の収納庫などの整備を支援しました。

■コミュニケーション及び生活支援の充実

外国人県民等を支援する多言語サポーターの養成や、地域の日本語教室を巡回し、外国人受講者からの相談対応を行うなど、外国人県民等※²へのコミュニケーション及び生活の支援に取り組みました。

■海外とのネットワークの形成

海外県人会子弟（県費留学生）及び海外自治体職員研修員の招へいや、県内在住の留学生に対する支援を行い、海外とのネットワークの形成に取り組みました。

■スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進

統合型地域スポーツクラブ会員数を増やすため、岩手県広域スポーツセンター専任指導員による訪問指導を実施し、統合型地域スポーツクラブの創設育成支援に取り組みました。

■スポーツ医・科学サポート体制の充実

沿岸被災地域等の高校生アスリートを対象に競技力向上を計画的に図るため、スポーツ医・科学データの測定・収集を行い、そのデータを活用したワークショップを開催しました。

【用語解説】

※1 交流籍

特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒が、居住する地域の小・中学校と交流や共同学習を円滑に行うことができるよう、関係を位置付けるための副次的な籍。

※2 外国人県民等

外国籍を持つ県民や外国にルーツがある日本国籍を持つ県民。

政策項目No.24：家庭・地域との協働による学校経営の推進

1 みんなで目指す姿

「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、学校評価を学校経営計画の改善に生かしながら、家庭・地域との協働による目標達成型の学校経営が行われています。

また、東日本大震災津波の経験を力として、県内全ての学校で「いわての復興教育」※¹に取り組み、岩手の復興・発展を担う子どもたちが育まれています。

【用語解説】

※1 いわての復興教育

東日本大震災津波による被災体験を踏まえ、県内全ての学校がそれぞれの実情に応じて取り組むことができる教育プログラムを作成・普及することにより、子どもたち自らの未来を切り拓く力を育むとともに、県内の全ての学校が心を1つにして震災を見つめ、岩手の復興・発展を担う「ひとづくり」を進めていくための教育。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 目標達成型の学校経営の推進	0	0	0	0	0	0	0
(2) 学校と家庭・地域との協働の推進	1	199,094	155,902	153,881	2,021	0	0
(3) 「いわての復興教育」の推進	3	46,609	40,933	40,529	0	0	404

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

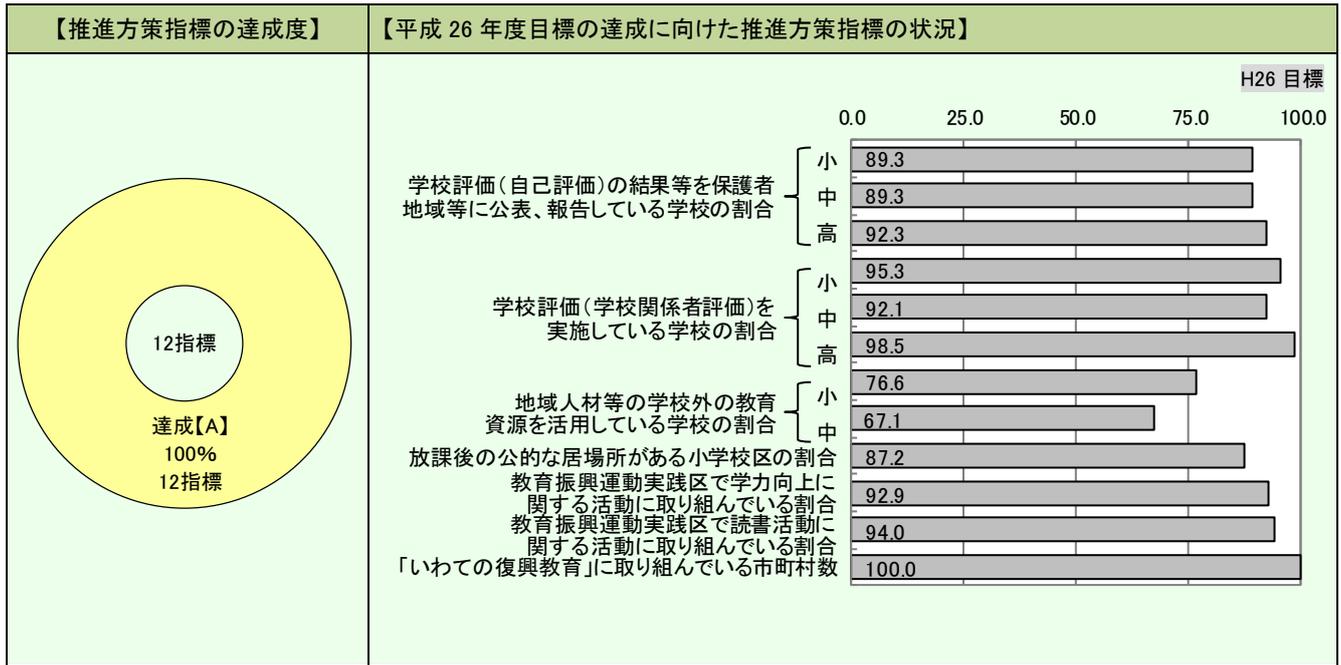
指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度 (H23)
56 学校評価(自己評価及び学校関係者評価)結果等を踏まえて学校運営の改善に具体的に取り組んでいる学校の割合	%	⑳ 58	74	65	82.6	A
57 「いわての復興教育」を学校経営計画等に位置付けて取り組んでいる学校の割合	%	—	100	80	100	A

- 学校評価（自己評価及び学校関係者評価）結果等を踏まえて学校運営の改善に具体的に取り組んでいる学校の割合及び「いわての復興教育」を学校経営計画等に位置付けて取り組んでいる学校の割合の達成度は【A】となりました。
- 推進方策指標 12 指標は、全て「達成」となりました。

特記事項

- 平成 25 年県民意識調査によると、「学校と地域との協力」の重要度は 22 位、満足度は 16 位となり、ニーズ度は 28 位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 目標達成型の学校経営の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
191	%	㊟小 80.6	90	84	89.3	A	A
192		㊟中 80.2	90	84	89.3	A	A
193		㊟高 79.7	90	84	92.3	A	A

- 学校評価（自己評価）の結果等を保護者・地域等に公表、報告している学校の割合の達成度は、小学校、中学校、高校のいずれにおいても【A】となりました。

(2) 学校と家庭・地域との協働の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
194	%	㊟小 65.9	85	73	95.3	A	A
195		㊟中 65.6	85	73	92.1	A	A
196		㊟高 77.0	90	83	98.5	A	A
197	%	小 73.8	79	76	76.6	A	—
198		中 40.7	51	46	67.1	A	—
199	%	84.1	86.1	85.1	87.2	A	A
200	%	74	82	78	92.9	A	D
201	%	84	92	88	94.0	A	D

- 学校評価（学校関係者評価）を実施している学校の割合の達成度は、小学校、中学校、高校のいずれにおいても【A】となりました。
- 地域人材等の学校外の教育資源を活用している学校の割合の達成度は、小学校、中学校ともに【A】となりました。
- 放課後子ども教室^{※2}等の放課後の公的な居場所がある小学校区の割合の達成度は【A】となりました。
- 教育振興運動^{※3}実践区で学力向上に関する活動に取り組んでいる割合の達成度は【A】となりました。
- 教育振興運動実践区で読書活動に関する活動に取り組んでいる割合の達成度は【A】となりました。

【用語解説】

※2 放課後子ども教室

子どもたちが放課後や週末に安全・安心に活動できる拠点（居場所）。地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ、文化活動、

地域住民との交流活動等を子どもたちに提供。小学校の余裕教室や公民館等を活用して市町村が実施。

※3 教育振興運動

岩手において昭和40年から始まり、全ての市町村に推進組織が置かれ、学校区や公民館区など計489の実践区（平成22年度現在）において、子ども、親、学校、地域、行政、の5者が一体となり、地域の教育課題を解決するために自主的に行われている実践活動の総称。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度			
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
	★	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業【生涯学習文化課】	155,903	学校支援地域本部数	本部	67	43	C	学校支援ボランティア数	人	5,500	7,721	A	
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	18	18	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	85.0	87.2	A	
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	12	12	A	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	4	18	A	
				委託事業実施市町村数	市町村	31	31	A	-	-	-	-	-	

(3) 「いわての復興教育」の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
202 「いわての復興教育」に取り組んでいる市町村数	市町村	—	33	26	33	A	—

- 「いわての復興教育」に取り組んでいる市町村数の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度			
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
	★	いわての復興教育推進支援事業費【学校教育室】	14,378	復興教育取組推進校数	校	46	46	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A	
	★	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	21,997	復興交流推進取組実施校数	校	79	81	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A	
				進学支援対策講座等の実施校数	校	6	6	A	進学支援対策講座等の受講者数	人	75	75	A	
				進路実現取組実施校数	校	16	16	A	事業目的の成果があった学校の割合	%	100	100	A	
	★	実践的防災教育総合支援事業費【学校教育室】	4,558	緊急地震速報受信システム設置校	校	3	3	A	緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練(学習会)の実施回数	回	6	6	A	
				学校防災アドバイザー派遣校	校	3	3	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	3	3	A	
				災害ボランティア活動実施校	校	20	20	A	災害ボランティア活動への参加生徒数	人	800	1,143	A	

政策項目No.25：児童生徒の学力向上

1 みんなで目指す姿

各学校において分かりやすい授業が行われることにより、児童生徒一人ひとりに基礎・基本が定着^{※1}し、目指す進路を実現できる知識や技能が身に付いているとともに、自立した社会人になっていくために必要な総合力が身に付いています。

【用語解説】

※1 基礎・基本が定着

知識の習得とそれを活用する力、物事をしっかり考える力が身に付くこと。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 数学(算数)・英語の学力向上	6	242,532	240,738	5,111	195	0	235,432
(2) 授業改善の推進と家庭学習の充実	4	430,204	428,775	0	3,420	0	425,355
(3) 特色ある教育課程の編成	0	0	0	0	0	0	0
(4) 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育 ^{※2} の実践	3	17,249	16,149	0	0	0	16,149
(5) 私立学校の特色ある教育活動の推進	1	4,811,434	4,800,535	759,745	3,689	0	4,037,101

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	
						(H23)	(H23)
58 学習定着度状況調査及び基礎力確認調査において、「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合	%	64	67	65	67	A	A

- 学習定着度状況調査及び基礎力確認調査において、「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合の達成度は【A】となりました。
- 教育委員会が所管する推進方策指標 16 指標は、「達成」・「概ね達成」が 10 指標 (62.5%)、「やや遅れ」・「遅れ」が 6 指標 (37.5%) となりました。

特記事項

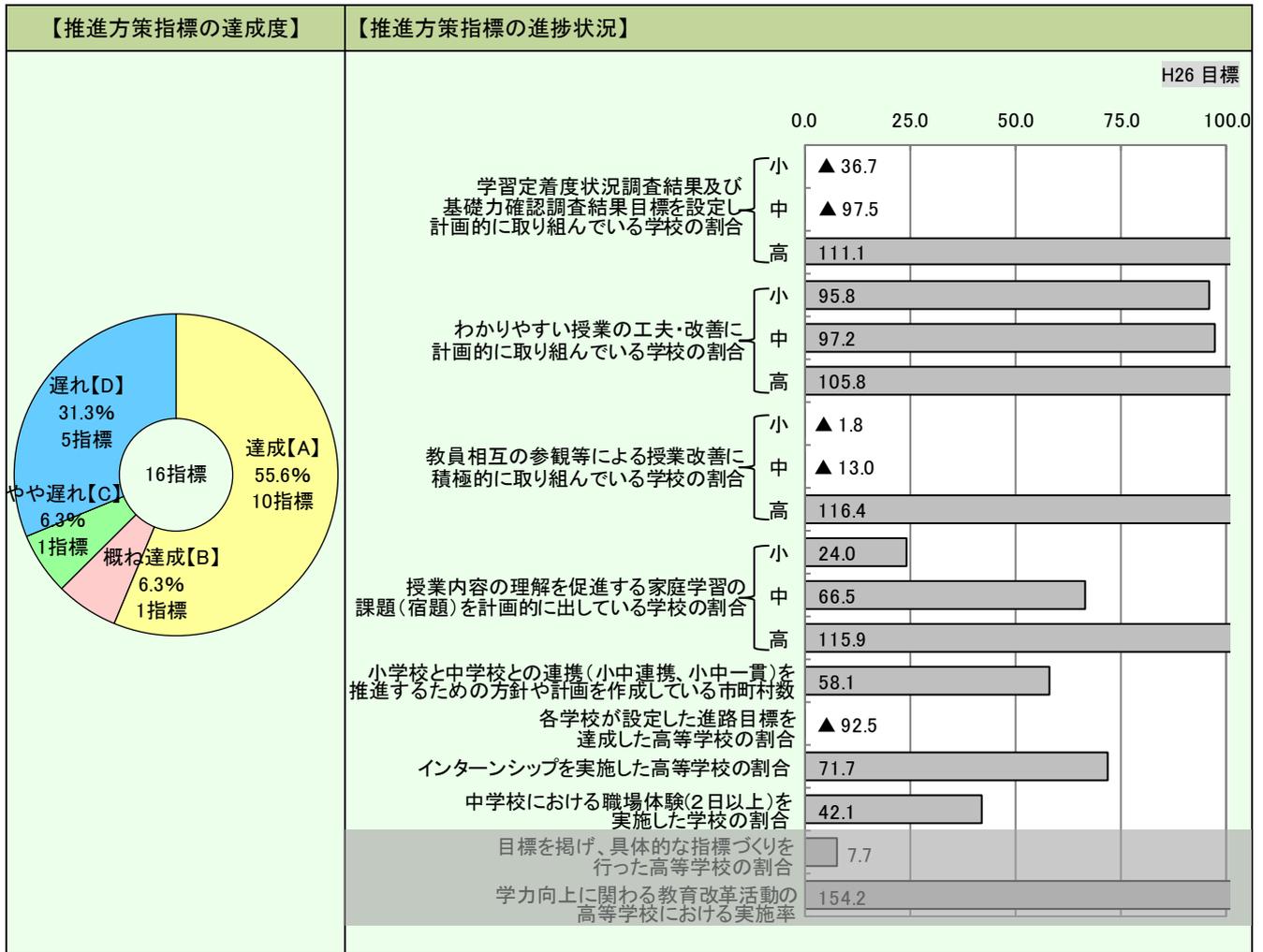
- 平成 25 年県民意識調査によると、「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は 20 位、満足度は 22 位となり、ニーズ度は 22 位となっています。

【用語解説】

※2 キャリア教育

児童生徒一人ひとりの勤労観・職業観を育てる教育。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 数学(算数)・英語の学力向上

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H24)	実績値(H24)	達成度	
						(H23)	(H23)
203 学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合	%	小 74	95	85	66	D	D
204		中 70	90	80	51	D	D
205		高 -	90	80	100	A	-

● 学習定着度状況調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合は、小学校、中学校ともに、県全体の調査分析結果を活用する学校が増えている中、震災の影響により平成23年度は県全体の分析結果が得られなかったことから、各学校において調査結果をもとに目標を設定することが困難であったため、小学校で66%、中学校で51%にとどまり、達成度は【D】となりました。

なお、高等学校における基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標				成果指標					
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業)【学校教育室】	43,075	外国語指導助手(ALT)の招致人数	人	10	10	A	ALTが週1回以上授業した県立学校の割合	%	19	19	A
				-	-	-	-	-	外国語指導助手(ALT)の派遣校数	校	12	12	A

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		いわて進学支援ネットワーク事業費【学校教育室】	22,008	東大・医学部対策講座の実施校数(3年生)	校	16	16	A	東大・医学部対策講座の受講者数(3年生)	人	110	115	A		
	二次重視大学対策講座の実施校数(3年生)			校	24	24	A	二次重視大学対策講座の受講者数(3年生)	人	470	485	A			
	センター重視大学対策講演会の実施校数(1・2年生)			校	40	40	A	センター重視大学対策講演会の受講者数(1・2年生)	人	420	430	A			
		外国語教育推進事業費【学校教育室】	161,682	民間委託の外国語指導助手(NS)の委託人数	人	36	36	A	NSが週1回以上授業した県立学校の割合	%	81	81	A		
				-	-	-	-	NSの県立学校への派遣校数	校	68	68	A			
		中高連携英語力向上推進事業費【学校教育室】	8,864	英語能力判定テストを受ける中学生の割合	%	100	100	A	英検3級レベルを身につけている中学3年生の割合	%	25	36	A		
				改善研修会の開催回数	回	2	2	A	改善研修会を受講する中学校教員の数	人	180	184	A		
		指導運営費(英語力等外国語能力強化事業)【学校教育室】	2,020	改善研修会の開催回数	回	8	8	A	改善研修会を受講する高校教員の数	人	160	217	A		
				拠点校英語集中講座実施校数	校	2	2	A	拠点校英語集中講座を実施する校数	校	2	2	A		
		指導運営費(いわて高校生留学促進事業)【学校教育室】	3,093	グローバル人材育成のための講師派遣事業実施校数	校	10	10	A	グローバル人材育成のための講師派遣事業参加生徒数	人	1,000	1,612	A		

(2) 授業改善の推進と家庭学習の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H24)	実績値(H24)	達成度	(H23)
							(H23)
206	わかりやすい授業の工夫・改善に計画的に取り組んでいる学校の割合	小	95	80	91	A	-
207		中	90	70	88	A	-
208		高	90	70	95	A	-
209	教員相互の参観等による授業改善に積極的に取り組んでいる学校の割合	小	58.1	80	57.7	D	-
210		中	45.5	60	41.0	D	-
211		高	-	75	65	87.3	A
212	授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出している学校の割合	小	82	87	83	C	D
213		中	46	63	57	A	A
214		高	-	63	50	73	A

- わかりやすい授業の工夫・改善に計画的に取り組んでいる学校の割合の達成度は、小学校、中学校、高等学校のいずれも【A】となりました。
- 教員相互の参観等による授業改善に積極的に取り組んでいる学校の割合の達成度は、高等学校では【A】となりましたが、小学校、中学校においては、小学校95%、中学校55%の学校で教員全員が授業を公開し、授業をお互いに参観する機会を設ける取組は広がったものの、校内研修に位置付けた授業改善の取組まで至らなかったため、小学校で57.7%、中学校で41.0%にとどまり、達成度は【D】となりました。
- 授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出している学校の割合の達成度は、中学校及び高等学校では【A】となりましたが、小学校においては、99%の学校が家庭学習を出しているものの、授業と連動した計画的な出題にまで至らなかったため、83%にとどまり、達成度は【C】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		教職員研修費(授業力向上研修)【学校教育室】	6,300	校種ごと実施講座	講座	13	13	A	研修受講者の満足度	%	85	98	A		
		指導運営費(学力向上対策推進事業)【学校教育室】	15,698	調査分析の計画的な実施(調査システムの改善)率	%	100	100	A	◆システムによる分析を行った学校の割合	%	100	100	A		
				-	-	-	-	◆報告書を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A			
		すこやかサポート推進事業【教職員課】	217,968	小学校で30人を超える学級を有し、少人数加配のない学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	90	93	A		
				14~16人複式学級への非常勤講師配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	90	99	A		
		教職員費(学校生活サポート推進事業)【教職員課】	188,811	生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	85	98	A		
				学習指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	85	100	A		

(3) 特色ある教育課程の編成

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	
						(H23)	
215 小学校と中学校との連携(小中連携、小中一貫)を推進するための方針や計画を作成している市町村数	市町村	2	33	15	20	A	A
216 各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合	%	91	95	93	87	D	A

- 小学校と中学校との連携(小中連携、小中一貫)を推進するための方針や計画を作成している市町村数の達成度は【A】となりました。
- 各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合は、生徒の意識付けを図るため目標をより高く設定し取り組んだものの、進路目標を達成できなかった学校があったため、87%にとどまり、達成度は【D】となりました。

(4) 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	
						(H23)	
217 インターンシップを実施した高等学校の割合	%	78.8	84.8	81.8	83.1	A	D
218 中学校における職場体験(2日以上)を実施した学校の割合	%	76.6	78.5	77.5	77.4	B	D

- インターンシップ※3を実施した高等学校の割合の達成度は【A】、中学校における職場体験(2日以上)を実施した学校の割合の達成度は【B】となりました。

【用語解説】

※3 インターンシップ

生徒が在学中に、将来のキャリア(職業生活)に関連した就業体験を行うこと。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		いわて未来創造人サポート事業費【学校教育室】	9,102	職場見学・学校訪問等の進路指導実施校	校	27	27	A	◆事業目的の成果があった学校割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
	地域に係るものづくり体験学習実施校数			校	21	21	A	-		-	-	-	
	地域理解、世代・校種間交流活動実施校数			校	27	27	A	-		-	-	-	
		学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業費【学校教育室】	6,049	企業見学実施支援学校数	校	6	6	A	職場インターンシップを実施した高等学校の割合	%	81.8	83.1	A
		キャリアアップサポート推進事業費補助【学校教育室】	1,000	-	-	-	-	-	産業教育振興会による支援件数	件	18	17	B

(5) 私立学校の特色ある教育活動の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	
						(H23)	
219 目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合	%	-	100	70	7.7	D	D
220 学力向上に関わる教育改革活動の高等学校における実施率	%	43	55	49	61.5	A	A

- 目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合は、目標設定の前提となる計画策定は進んだものの、具体的な指標設定に至らなかったため、達成度は【D】となりました。
- 学力向上に関わる教育改革活動の高等学校における実施率の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		私立学校運営費補助【法務学事課】	4,800,535	-	-	-	-	-	目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合	%	70.0	7.7	D
	学力向上に関わる教育改革活動の高等学校における実施率			%	49.0	61.5	A						

政策項目No.26：豊かな心を育む教育の推進

1 みんなで目指す姿

幼児児童生徒一人ひとりが心の教育や体験活動等を通じて、好ましい人間関係を築ける協調性や進んで人を助けるなどの基本的な道徳観を身に付け、学校に適応しながら、社会人として自立して生きていくための生活基礎力を身に付けています。

また、東日本大震災津波により、心にダメージを受けた子どもたちへの心のサポートが適切になされ、子どもたちが自己肯定感や基本的な道徳観を身に付けているほか、東日本大震災津波の経験を力にして、発災前よりもよい地域をつくっていくという大きな志を持って前向きに力強く活動しています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進	1	412	371	0	0	0	371
(2) 家庭・地域との協働の充実	1	3,743	3,720	0	0	0	3,720
(3) 教育相談機能の充実	1	3,494	3,141	3,141	0	0	0
(4) 幼児児童生徒の心のサポートの充実	4	242,877	239,098	235,100	754	0	3,244
(5) 情報モラル教育の推進	0	0	0	0	0	0	0
(6) 私立学校の特色ある教育活動の推進	0	0	0	0	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

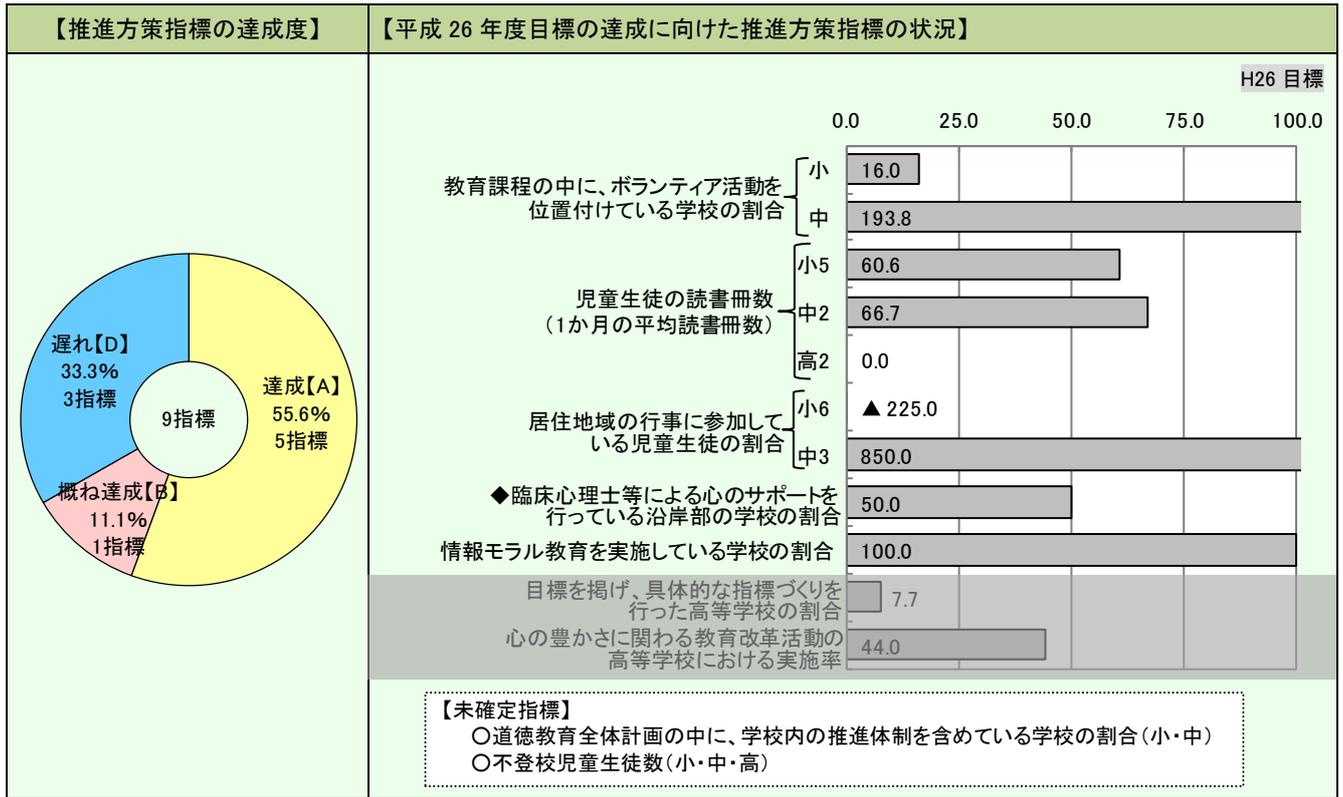
指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	
							(H23)
59 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	%	56	60	58	59	A	—
60 「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合	%	78	82	80	—	—	—

- 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合の達成度は【A】となりましたが、「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合については、平成24年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）の質問項目が変更されたため、実績値が測定できませんでした。なお、児童生徒の道徳性の育成のため、学校内の推進体制の構築や、ボランティア活動などの体験活動を教育課程へ位置付けるなど、各学校に対する道徳教育の充実に関する啓発を行いました。
- 教育委員会が所管する推進方策指標14指標は、達成度未確定の5指標を除き、「達成」・「概ね達成」が7指標（66.7%）、「遅れ」が4指標（33.3%）となりました。

特記事項

- 平成25年県民意識調査によると、「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は7位、満足度は21位となり、ニーズ度は14位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	
						(H23)	(H23)
221 道徳教育全体計画の中に、学校内の推進体制を含	%	小 38	70	60	—	—	—
222 めている学校の割合		中 32	70	60	—	—	—
223 教育課程の中に、ボランティア活動を位置付けて	%	小 90	95	93	91	D	—
224 いる学校の割合		中 72	80	76	88	A	—
225		小5 10.0	13.3	12.1	12.0	B	B
226 児童生徒の読書冊数（1か月の平均読書冊数）	冊	中2 3.6	4.2	3.8	4.0	A	A
227		高2 1.6	2.5	2.3	1.6	D	D

- 道徳教育全体計画の中に、学校内の推進体制を含めている学校の割合は、統計結果が未公表のため実績値は測定できませんでした。なお、学習指導要領における道徳に関する改訂内容の周知徹底を図るために、各地区で教育課程に関する説明会を開催するとともに、国で開催した道徳教育指導者養成研修受講者を各学校に派遣し、道徳教育の推進体制の構築に向けた指導・啓発に取り組みました。
- 教育課程の中に、ボランティア活動を位置付けている学校の割合の達成度は、中学校は【A】となりましたが、小学校では、99.2%の学校がボランティア活動を実施しているものの、授業時数を確保するため、8%に近い学校が教育課程外に位置付けたため、91%にとどまり、達成度は【D】となりました。
- 児童生徒の読書冊数（1か月の平均読書冊数）の達成度は、小5で達成度【B】、中2で達成度【A】となりましたが、高2については、学校図書館担当者研修会への参加が少なかったこと及び地域と学校との連携機会が少なかったこと等のため、1.6冊にとどまり、達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標				成果指標					
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業)【生涯学習文化課】	371	読書ボランティア等研修会の回数(累計)	回	91	91	A	中学校2年生の読書者の割合	%	95	89	B
				-	-	-	-	-	学校における読書ボランティア活用割合	%	63	82	A

(2) 家庭・地域との協働の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名		単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
228	居住地域の行事に参加している児童生徒の割合	%	小6 81.2	81.6	81.4	80.3	D	—
229			中3 54.5	54.9	54.7	57.9	A	—

- 居住地域の行事に参加している児童生徒の割合の達成度は、中学校は【A】となりましたが、小学校においては、被災地において地域行事の縮小や中止等により参加する児童の割合が減少したため、80.3%にとどまり、達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
再	★	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業【生涯学習文化課】	(155,903)	学校支援地域本部数	本部	67	43	C	学校支援ボランティア数	人	5,500	7,721	A
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	18	18	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	85.0	87.2	A
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	12	12	A	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	4	18	A
				委託事業実施市町村数	市町村	31	31	A	-	-	-	-	-
★	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業)【生涯学習文化課】	3,720	子育て電話相談、メール相談窓口の開設日数	日	365	365	A	子育て相談ニーズへの対応件数(累計)	件	7,200	7,137	B	

(3) 教育相談機能の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名		単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
230	不登校児童生徒数	人	小 130	110	120	—	—	D
231			中 840	800	820	—	—	A
232			高 880	790	830	—	—	A

- 不登校児童生徒数は、文部科学省が行う問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査が未了のため、実績値が測定できませんでした。なお、月3日以上欠席した児童生徒への早期対応を図るなど、学校全体で指導に当たり、学校不適応の未然防止、早期発見、早期対応に取り組むとともに、スクールカウンセラーを配置し、学校不適応児童生徒に対する専門的な教育相談の実施や教員に対する専門的な助言を行いました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		児童生徒健全育成推進費(スクールソーシャルワーカー(SSW)配置事業)【学校教育室】	3,141	スクールソーシャルワーカーの配置人数	人	9	9	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A

(4) 幼児児童生徒の心のサポートの充実

◎具体的な推進方策指標

指標名		単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
233	臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合	%	—	100	100	100	A	A

- 臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
★		児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー等配置事業【学校教育室】)	219,727	中学校のスクールカウンセラー配置校数	校	135	135	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
				巡回型カウンセラーの配置	人	9	9	A	-	-	-	-	
				スーパーバイザーの派遣	箇所	3	3	A	-	-	-	-	
				大学チームによる支援	箇所	3	3	A	-	-	-	-	
		児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業【学校教育室】)	3,873	電話相談窓口の設置・運営	式	3	3	A	◆相談希望への対応	%	100	100	A
				携帯カードの作成枚数	枚	13,200	150,000	A	-	-	-	-	

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		児童生徒健全育成推進費(問題を抱える子ども等の自立支援事業【学校教育室】)	1,528	調査研究を実施している市町村数	市町村	2	2	A	◆問題を抱える児童生徒への対応率	%	100	100	A
				自立支援相談員の配置人数	人	2	2	A	-	-	-	-	
				嘱託医・カウンセラーの配置人数	人	2	2	A	-	-	-	-	
		児童生徒健全育成推進費(学校不適応総合対策事業【学校教育室】)	13,938	高校カウンセラーの配置人数	人	10	10	A	◆支援希望への対応率(中学校)	%	100	100	A
				適応支援相談員の配置人数	人	-	-	-	◆相談希望への対応率(高校)	%	100	100	A

(5) 情報モラル教育の推進

◎具体的な推進方策指標

234	情報モラル教育を実施している学校の割合	%	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
								A
			97	100	99	100	A	A

- 情報モラル教育を実施している学校の割合の達成度は【A】となりました。

(6) 私立学校の特色ある教育活動の推進

◎具体的な推進方策指標

235	目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合	%	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
								D
			-	100	70	7.7	D	D
236	心の豊かさに関わる教育改革活動の高等学校における実施率	%	67	72	69	69.2	A	B

- 目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合は、目標設定の前提となる計画策定は進んだものの、具体的な指標設定に至らなかったため、達成度は【D】となりました。
- 心の豊かさに関わる教育改革活動の高等学校における実施率の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
再		私立学校運営費補助【法務学事課】	(4,800,535)	-	-	-	-	-	目標を掲げ、具体的な指標づくりを行った高等学校の割合	%	70.0	7.7	D
				-	-	-	-	-	心の豊かさに関わる教育改革活動の高等学校における実施率	%	69.0	69.2	A

政策項目No.27：健やかな体を育む教育の推進

1 みんなで目指す姿

児童生徒が自らの体力や健康に関心を持ち、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることにより、体力の向上と心身の健康の保持増進を図っています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり	1	5,847	5,308	5,308	0	0	0
(2) 健康教育の充実	0	0	0	0	0	0	0
(3) 指導者の資質向上・授業力向上	1	4,820	2,846	2,821	0	0	25

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度 (H23)
61 児童生徒の「体力・運動能力調査」 ^注 の全国平均値以上の項目割合(小・中学校全学年)	%	73.6	80.0	76.0	40.1	D
62 児童の「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内と判定される児童の割合(小学校全学年)	%	87.4	89.0	88.2	87.8	D

注 調査結果には沿岸南部教育事務所管内の結果は含まれていないもの。(体力・運動能力調査期間：5月～7月)

- 児童生徒の「体力・運動能力調査」^{*}の全国平均値以上の項目割合(小・中学校全学年)は、東日本大震災津波の影響により、各学校における家庭・地域との協働による運動機会の拡大や習慣化の支援が十分でなかったため、40.1%にとどまり、達成度は【D】となりました。
- 児童の「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内と判定される児童の割合(小学校全学年)は、食育の推進や児童生徒の望ましい生活習慣の確立に向けた支援などを行いましたが、日常の運動量の減少や運動をする児童としない児童の二極化なども影響し、肥満度の改善につながらなかったため、87.8%にとどまり、達成度は【D】となりました。
- 推進方策指標3指標は、「達成」が1指標(33.3%)、「遅れ」が2指標(66.7%)となりました。

特記事項

- 平成25年県民意識調査によると、「子どもの体力向上」の重要度は14位、満足度は10位となり、ニーズ度は33位となっています。

【用語解説】

※ 体力・運動能力調査

通常は文部科学省が行う全国調査を指すが、本県では補完的に行っている独自調査を指している。

3 目指す姿を達成するための取組(県の具体的な推進方策)

【推進方策指標の達成度】	【平成26年度目標の達成に向けた推進方策指標の状況】																								
<p>達成【A】 33.3% 1指標</p> <p>遅れ【D】 66.7% 2指標</p> <p>3指標</p>	<p style="text-align: right;">H26 目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0.0</th> <th>25.0</th> <th>50.0</th> <th>75.0</th> <th>100.0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校体力・運動能力調査の総合評価A・B段階がD・E段階を上回る児童の割合(小5・6)</td> <td>▲79.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童の肥満防止に取り組んでいる小学校の割合</td> <td>51.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合</td> <td>15.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		0.0	25.0	50.0	75.0	100.0	小学校体力・運動能力調査の総合評価A・B段階がD・E段階を上回る児童の割合(小5・6)	▲79.7					児童の肥満防止に取り組んでいる小学校の割合	51.7					運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合	15.0				
	0.0	25.0	50.0	75.0	100.0																				
小学校体力・運動能力調査の総合評価A・B段階がD・E段階を上回る児童の割合(小5・6)	▲79.7																								
児童の肥満防止に取り組んでいる小学校の割合	51.7																								
運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合	15.0																								

(1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度 (H23)
237 小学校体力・運動力調査の総合評価A・B段階がD・E段階を上回る児童の割合(小5・6)	%	24.6	30.5	27.5	19.9	D

- 小学校体力・運動力調査の総合評価A・B段階がD・E段階を上回る児童の割合(小5・6)は、震災以降、屋外活動が制限される等外遊びの機会の減少が影響したため、19.9%にとどまり、達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	児童の体力向上推進事業費【スポーツ健康課】	5,308	事業活用学校数	校	20	11	D	事業活用回数	回	80	116	A

(2) 健康教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度 (H23)
238 児童の肥満防止に取り組んでいる小学校の割合	%	85.3	96.9	91.1	91.3	A

- 児童の肥満防止に取り組んでいる小学校の割合の達成度は【A】となりました。

(3) 指導者の資質向上・授業力向上

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度 (H23)
239 運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合	%	83.5	87.5	85.5	84.1	D

- 運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合は、東日本大震災津波の影響による教員対象の研修の中止などにより、運動好きの生徒を育成する指導法が十分に周知されなかったため、84.1%にとどまり、達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		児童の体力向上推進事業費【スポーツ健康課】	2,847	体育実技アシスタントの数	人	50	58	A	体育実技アシスタントの派遣学校数	校	50	85	A
		小学校体育ステップアップ講習会の開催回数		小学校体育ステップアップ講習会の参加者数	回	1	1	A		人	40	20	D

政策項目No.28：特別支援教育の充実

1 みんなで目指す姿

障がいのある幼児児童生徒一人ひとりが教育的ニーズに応える支援体制のもとで、障がいのない子どもたちといきいきとした学校生活を送り、将来の自立に向けた「共に学び、共に育つ教育」が実現されています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実	2	36,935	35,985	0	129	0	35,856
(2) 特別支援学校における教育の充実	2	36,553	35,355	9,096	0	0	26,259
(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり	0	0	0	0	0	0	0
(4) 特別支援学校卒業生の就職支援	3	46,591	45,247	2,268	42,979	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	
						(H23)	(H23)
63 作成が必要な全ての児童生徒について「個別的教育支援計画」※1を作成している学校の割合	%	38	100	68	46	D	C
64 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職を達成した生徒の割合	%	92.0	94.0	93.0	100.0	A	D

- 作成が必要な全ての児童生徒について「個別的教育支援計画」を作成している学校の割合は、個別的教育支援計画を策定するために必要な外部関係機関との調整に時間を要しているため、46%にとどまり、達成度は【D】となりました。
- 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職を達成した生徒の割合の達成度は【A】となりました。
- 推進方策指標7指標は、全て「達成」・「概ね達成」となりました。

特記事項

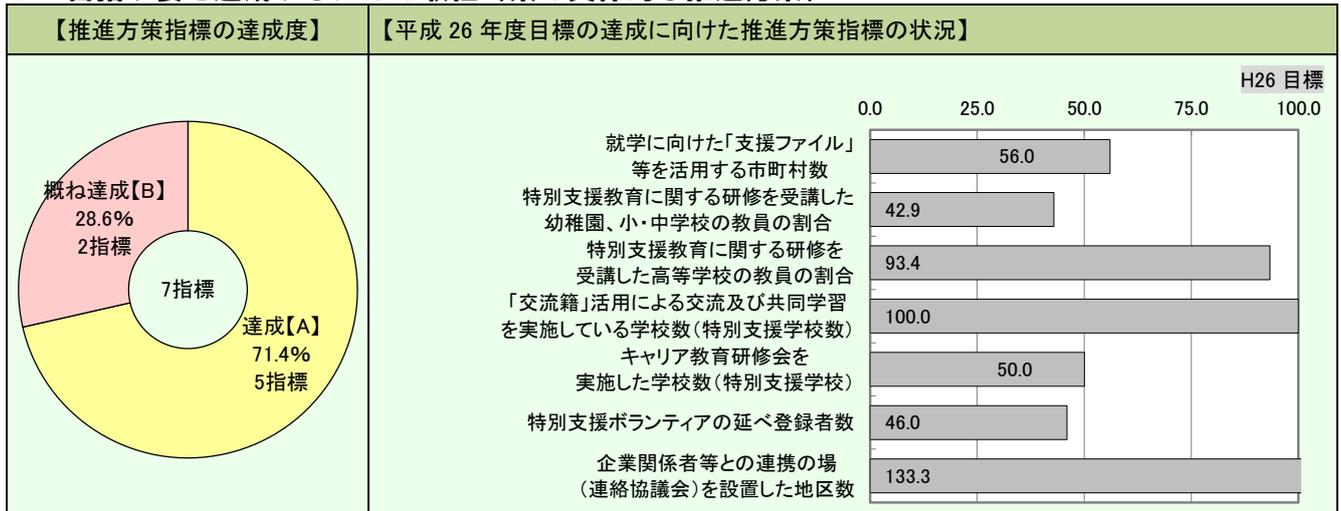
- 国においては、「障害者の権利条約」の今後の批准に向け法整備が進められており、文部科学省においても障がいのある子どもが障がいのない子どもと共に教育を受けるインクルーシブ教育システムの構築に向けた制度改革等の検討が行われています。
- 平成25年県民意識調査によると、「全ての子どもが学べる環境」の重要度は13位、満足度は20位となり、ニーズ度は19位となっています。

【用語解説】

※1 個別的教育支援計画

教育サイドが主体となって作成する「個別の支援計画」。本人・保護者の参画や関係機関との連携により、継続した一貫性のある支援をねらいとして作成するもの。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H24)	実績値(H24)	達成度	
						(H23)	(H23)
240 就学に向けた「支援ファイル」※2等を活用する市町村数	市町村	8	33	20	22	A	D
241 特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校の教員の割合	%	58	100	80	76	B	D
242 特別支援教育に関する研修を受講した高等学校の教員の割合	%	39	100	100	96	B	A

- 就学に向けた「支援ファイル」等を活用する市町村数の達成度は【A】となりました。
- 特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校及び高等学校の教員の割合の達成度は、いずれも【B】となりました。

【用語解説】

※2 支援ファイル

「個別の支援計画」に関連する資料。「いわて特別支援教育推進プラン」において、幼児期からの円滑な就学に向けた相談支援のための資料として、作成、活用されるよう働きかけているもの。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業)【学校教育室】	1,862	巡回相談をした特別支援学校数	校	14	14	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
		特別支援教育推進事業費(特別支援教育かがやきプラン推進事業)【学校教育室】	34,124	研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	50	50	A	研修会参加人数	人	1,500	1,500	A
				高等学校への支援員配置数	人	28	28	A	支援員配置に伴い成果のあった学校の割合	%	100	100	A

(2) 特別支援学校における教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H24)	実績値(H24)	達成度	
						(H23)	(H23)
243 「交流籍」活用による交流及び共同学習を実施している学校数(特別支援学校数)	校	2	(全校)14	(全校)14	14	A	A
244 キャリア教育研修会を実施した学校数(特別支援学校)	校	0	(全校)14	5	7	A	A

- 「交流籍」活用による交流及び共同学習を実施している学校数(特別支援学校数)及びキャリア教育研修会を実施した学校数(特別支援学校)の達成度はいずれも【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校医療的ケア体制整備事業)【学校教育室】	34,328	看護師の配置数	人	34	39	A	◆看護師による医療的ケアの実施割合	%	100	100	A		
				看護師等研修会の開催	回	1	1	A	医療的ケアの対象児童生徒数	人	39	42	A		
				-	-	-	-	-	研修会参加看護師数	人	34	34	A		
		特別支援教育推進事業費(特別支援教育総合推進事業)【学校教育室】	1,004	特別支援学校へのカウンセラー派遣回数	回	50	50	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A		

(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H24)	実績値(H24)	達成度	(H23)
245 特別支援ボランティアの延べ登録者数	人	19	80	40	46	A	-

- 特別支援ボランティアの延べ登録者数の達成度は【A】となりました。

(4) 特別支援学校卒業生の就職支援

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	年度目標値(H24)	実績値(H24)	達成度	(H23)
246 企業関係者との連携の場(連絡協議会)を設置した地区数	地区数	0	6	5	8	A	A

- 企業関係者との連携の場(連絡協議会)を設置した地区数の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
緊		特別支援教育推進事業費(特別支援学校就業支援事業)【学校教育室】	20,701	特別支援学校への就業支援員配置数	人	14	14	A	支援員配置に伴い成果のあった学校の割合	%	100	100	A		
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校キャリア教育推進事業)【学校教育室】	2,269	沿岸地区特別支援学校高等部の内陸地区企業における現場実習実施校数	校	3	3	A	現場実習及び企業との連携協議会を実施した対象校の割合	%	100	100	A		
				企業との連携協議会対象校数	校	8	8	A							
緊		教職員人事管理費(障がい者雇用促進対策事業)【学校教育室、教職員課】	22,279	特別支援学校卒業生の雇用人数	人	13	8	C	本事業を利用して一般企業に就労した者の割合	%	100	50	D		

政策項目No.29：生涯を通じた学びの環境づくり

1 みんなで目指す姿

県民一人ひとりが生涯にわたって自己実現を目指し、多様な機会を通じて学び、その学びの成果を生かすことが、生きがいづくりにつながり心豊かな生活になるとともに、郷土いわてに誇りを持ち愛着を深めています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 学習活動を支援する環境の充実	0	0	0	0	0	0	0
(2) 生涯にわたる学習機会の充実	0	0	0	0	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
65 生涯学習リーダー ^{※1} 登録者数(累計)	人	614	720	660	660	A	D

- 生涯学習リーダー登録者数（累計）の達成度は【A】となりました。
- 推進方策指標4指標は、全て「達成」となりました。

特記事項

- 平成25年県民意識調査によると、「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は31位、満足度は24位となり、ニーズ度は36位となっています。

【用語解説】

※1 生涯学習リーダー

教養・文化、スポーツ・健康、ビジネスライフ、パソコン、学術一般、現代的課題の各分野において、生涯学習を推進する指導者として県立生涯学習推進センターに登録され、かつ県民に社会教育事業の活用を奨励している方。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）

【推進方策指標の達成度】	【平成26年度目標の達成に向けた推進方策指標の状況】	
	H26 目標	
	0.0 25.0 50.0 75.0 100.0	
	生涯学習情報提供システム利用件数 (システムへのアクセス数)	108.2
	生涯学習・社会教育の推進に携わる 関係職員の人材育成事業の受講者数	86.5
	市町村における社会教育事業の 学級・講座参加人数	113.8
	ボランティア等のネットワークを 図る研修会の県民受講者数	98.8

(1) 学習活動を支援する環境の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
247 生涯学習情報提供システム※2利用件数(システムへのアクセス数)	件	30,778	31,067	22,667	33,630	A	A
248 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の受講者数	人	2,867	2,900	2,300	2,509	A	A

- 生涯学習情報提供システム利用件数（システムへのアクセス数）の達成度は【A】となりました。
- 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の受講者数の達成度は【A】となりました。

【用語解説】

※2 生涯学習情報提供システム

県が推進する生涯学習施策及び社会教育施策の紹介や事例をはじめ、市町村における各事業等、県民に対し生涯学習に係る情報を提供するホームページ。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標			
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
再	★	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業)【生涯学習文化課】	(3,720)	子育て電話相談、メール相談窓口の開設日数	日	365	365	A	子育て相談ニーズへの対応件数(累計)	件	7,200	7,173	B
再	★	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業【生涯学習文化課】	(155,903)	学校支援地域本部数	本部	67	43	C	学校支援ボランティア数	人	5,500	7,721	A
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	18	18	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	85.0	87.2	A
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	12	12	A	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	4	18	A
				委託事業実施市町村数	市町村	31	31	A	-	-	-	-	-

(2) 生涯にわたる学習機会の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
249 市町村における社会教育事業の学級・講座参加人数	千人	㉑ 500	㉕ 500	㉓ 440	㉓ 569	A	A
250 ボランティア等のネットワークを図る研修会の県民受講者数	人	800	805	775	795	A	A

- 市町村における社会教育事業の学級・講座参加人数の達成度は【A】となりました。
- ボランティア等のネットワークを図る研修会の県民受講者数の達成度は【A】となりました。

V 教育・文化

政策項目No.31：文化芸術の振興

1 みんなで目指す姿

多彩な本県の文化芸術が生まれ、創造・継承されるとともに、人々が文化芸術に触れ、活動・鑑賞する機会が増えています。

また、郷土の誇りと愛着をもたらす歴史遺産や伝統文化が保存継承され、その価値が広く内外に発信されています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 文化芸術と県民との交流支援体制の整備	1	3,929	3,393	0	0	0	3,393
(2) 文化芸術活動と鑑賞機会の充実	0	0	0	0	0	0	0
(3) 豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援	3	14,394	14,393	0	0	0	14,393
(4) 文化財の保存管理と活用の推進	3	436,548	379,737	121,106	52,646	0	205,985
(5) 世界遺産登録及び平泉文化研究の推進	4	36,288	35,243	3,433	2,202	0	29,608
(6) 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携	1	1,547	1,547	0	0	0	1,547
(7) 被災地における文化芸術活動支援	2	13,767	4,248	0	4,244	0	4

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
67 県内の公立文化施設における催事数	件	912	912	821	947	A	A
68 民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	343	380	360	379	A	A

- 民俗芸能ネットワーク加盟団体数の達成度は【A】となりました。
- 教育委員会が所管する推進方策指標6指標は、「達成」が3指標（50.0%）、「やや遅れ」・「遅れ」が3指標（50.0%）となりました。

特記事項

- 平成25年県民意識調査によると、「地域や学校での文化芸術活動」の重要度は43位、満足度は2位となり、ニーズ度は46位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的推進方策）

【推進方策指標の達成度】	【平成26年度目標の達成に向けた推進方策指標の状況】																		
<p>遅れ【D】 33.3% 2指標</p> <p>達成【A】 50.0% 3指標</p> <p>やや遅れ【C】 16.7% 1指標</p> <p>6指標</p>	<p style="text-align: right;">H26 目標</p> <p style="text-align: center;">0.0 25.0 50.0 75.0 100.0</p> <table border="1"> <tr> <td>文化芸術コーディネーター設置人数(累計)</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>被災地で開催されたイベントの数(累計)</td> <td>56.7</td> </tr> <tr> <td>新進・若手芸術家等派遣事業により派遣した芸術家数延べ人数(累計)</td> <td>67.1</td> </tr> <tr> <td>新進・若手芸術家等派遣事業により実施した公演の鑑賞者延べ人数(累計)</td> <td>43.9</td> </tr> <tr> <td>国・県指定等文化財件数</td> <td>17.9</td> </tr> <tr> <td>被災県指定文化財の修復件数割合</td> <td>103.9</td> </tr> <tr> <td>平泉文化の研究実績件数(累計)</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>保存継承を目指して伝統芸能を実施している小学校の割合</td> <td>92.4</td> </tr> <tr> <td>被災後に活動を再開した民俗芸能団体数(累計)</td> <td>63.8</td> </tr> </table>	文化芸術コーディネーター設置人数(累計)	33.3	被災地で開催されたイベントの数(累計)	56.7	新進・若手芸術家等派遣事業により派遣した芸術家数延べ人数(累計)	67.1	新進・若手芸術家等派遣事業により実施した公演の鑑賞者延べ人数(累計)	43.9	国・県指定等文化財件数	17.9	被災県指定文化財の修復件数割合	103.9	平泉文化の研究実績件数(累計)	50.0	保存継承を目指して伝統芸能を実施している小学校の割合	92.4	被災後に活動を再開した民俗芸能団体数(累計)	63.8
	文化芸術コーディネーター設置人数(累計)	33.3																	
	被災地で開催されたイベントの数(累計)	56.7																	
	新進・若手芸術家等派遣事業により派遣した芸術家数延べ人数(累計)	67.1																	
	新進・若手芸術家等派遣事業により実施した公演の鑑賞者延べ人数(累計)	43.9																	
	国・県指定等文化財件数	17.9																	
	被災県指定文化財の修復件数割合	103.9																	
	平泉文化の研究実績件数(累計)	50.0																	
	保存継承を目指して伝統芸能を実施している小学校の割合	92.4																	
	被災後に活動を再開した民俗芸能団体数(累計)	63.8																	

(1) 文化芸術と県民との交流支援体制の整備

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
							(H23)
257 文化芸術コーディネーター設置人数(累計)	人	1	4	3	2	D	A

- 文化芸術コーディネーター設置人数(累計)は、県北、沿岸地域においてコーディネート業務を遂行可能な団体が見出せないため2人にとどまり、達成度は【D】となりました。

なお、盛岡地域の文化芸術コーディネーターが県内の文化芸術団体と連携して、沿岸地域における文化芸術活動の支援を行いました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		いわて文化芸術王国構築事業費【NPO・文化国際課】	3,393	文化芸術コーディネーター設置に係る情報収集	件	6	13	A	文化芸術コーディネーター設置人数(累計)	人	3	2	D

(2) 文化芸術活動と鑑賞機会の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
							(H23)
258 被災地で開催されたイベントの数(県又は(公財)岩手県文化振興事業団の支援を受けたもの)(累計)	件	—	60	20	34	A	C

- 被災地で開催されたイベントの数(県又は(公財)岩手県文化振興事業団の支援を受けたもの)(累計)の達成度は【A】となりました。

(3) 豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
							(H23)
259 新進・若手芸術家等派遣事業により派遣した芸術家延べ人数(累計)	人	163	—	510	510	A	B
260 新進・若手芸術家等派遣事業により実施した公演の鑑賞者延べ人数(累計)	人	2,881	—	7,500	6,006	C	A

- 新進・若手芸術家等派遣事業により派遣した芸術家延べ人数(累計)の達成度は【A】となりました。
- 実施した公演の鑑賞者延べ人数(累計)は、比較的小規模な学校での実施を優先したため、6,006人にとどまり、達成度は【C】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	芸術文化振興事業費(青少年芸術普及事業)【生涯学習文化課】	3,786	青少年劇場(本公演)の開催回数	回	21	21	A	公演の鑑賞者数	人	12,314	11,387	B
				青少年劇場(小公演)の開催回数	回	8	7	B	公演の鑑賞者数	人	50	135	A
	★	芸術文化振興事業費(高校生文化活動支援事業)【生涯学習文化課】	9,320	セミナーサポート事業回数	回	21	25	A	全国高総文祭団体入賞者数	団体	2	4	A
				-	-	-	-	-	全国高総文祭個人入賞者数	人	1	2	A
	★	芸術文化振興事業費(岩手県中学校文化連盟補助)【生涯学習文化課】	1,288	県中総文祭実施回数	回	1	1	A	全国中文祭派遣団体数	団体	1	2	A
				-	-	-	-	-	全国中文祭派遣個人数	人	32	36	A

(4) 文化財の保存管理と活用の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
							(H23)
261 国・県指定等文化財件数	件	601	640	620	608	D	D
262 被災県指定文化財(修復対象 22 件)の修復件数割合	%	—	70.0	50.0	72.7	A	A

- 国・県指定等文化財件数は、震災により被災した建造物等文化財の一部について、修復不可と判断され文化財としての価値を失った等により登録抹消となったため、608件にとどまり、達成度は【D】となりました。

- 被災県指定文化財（修復対象 22 件）の修復件数割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
緊	★	文化財保護推進費(文化財レスキュー事業)【生涯学習文化課】	20,629	臨時職員任用数	人	8	8	A	古文書、生物標本等の処理件数	件	32,750	32,750	A		
				-	-	-	-	-	土器処理件数	箱	-	-	-		
	★	文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業)【生涯学習文化課】	242,220	市町村への委託数	件	4	4	A	仮設収蔵庫整備数累計	棟	11	11	A		
	★	遺跡調査事業費(遺跡調査事業)【生涯学習文化課】	116,888	国、県事業に係る埋蔵文化財調査事業数	件	3	3	A	市町村が行う埋蔵文化財調査への支援件数	件	6	6	A		
				市町村が行う埋蔵文化財調査に対する支援を行う市町村数	市町村	6	6	A	-	-	-	-	-		

(5) 世界遺産登録及び平泉文化研究の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
263 平泉文化の研究実績件数(累計)	件	3	15	9	9	A	A

- 平泉文化の研究実績件数（累計）の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業)【生涯学習文化課】	2,795	共同研究の実施件数	件	6	6	A	共同研究成果の論文数	本	7	7	A		
		文化財保護推進費(縄文世界遺産登録支援事業)【生涯学習文化課】	8,124	平泉文化フォーラムの開催回数	回	1	1	A	平泉文化フォーラムの参加者数	人	400	450	A		
		文化財保護推進費(世界遺産登録推進事業)【生涯学習文化課】	16,786	「学術会議」開催費用の負担	式	1	1	A	「学術会議」の開催	回	1	1	A		
		文化財保護推進費(近代化産業遺産群世界遺産登録推進事業)【生涯学習文化課】	7,764	「平泉授業」の実施回数	回	-	-	-	「平泉授業」の受講者数	人	-	-	-		
		文化財保護推進費(近代化産業遺産群世界遺産登録推進事業)【生涯学習文化課】	7,764	関係各種会議参加費用の負担	式	7,764	7,764	A	関係各種会議への参加回数	回	6	6	A		

(6) 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
264 保存継承を目指して伝統芸能を実施している小学校の割合	%	69.1	70.0	67.0	64.7	D	-

- 保存継承を目指して伝統芸能を実施している小学校の割合は、伝統芸能に取り組んでいた小規模校が統合されたため、64.7%にとどまり、達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		文化財保護推進費(民俗芸能伝承促進事業)【生涯学習文化課】	1,547	青少年民俗芸能フェスティバルの開催回数	回	1	1	A	青少年民俗芸能フェスティバル鑑賞者数	人	600	840	A		

(7) 被災地における文化芸術活動支援

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
265 被災後に活動を再開した民俗芸能団体数(県又は(公財)岩手県文化振興事業団の支援を受けた団体分)(累計)	団体	-	80	70	51	C	B

- 被災後に活動を再開した民俗芸能団体数(県又は(公財)岩手県文化振興事業団の支援を受けた団体分)(累計)は、被災地では、土地の嵩上げや利用調整等に時間を要しており、被災した練習場所等の設置場所が決定できないことや、担い手不足が生じていることなどから 51 団体にとどまり、達成度は【C】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度			
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
	★	郷土芸能復興支援事業費補助【NPO・文化国際課】	2,772	市町村を通じた郷土芸能団体への補助	件	20	3	D	活動再開した郷土芸能団体数	団体	20	3	D	
	★	いわて学びの希望基金被災地児童生徒文化活動支援事業費補助【生涯学習文化課】	1,477	中文祭参加補助団体数	団体	2	1	D	中文祭参加補助者数	人	60	25	D	
				高文祭参加補助団体数	団体	26	17	C	高文祭参加補助者数	人	1,000	143	D	
				高校生セミナーサポート参加補助団体数	団体	26	3	D	高校生セミナーサポート参加補助者数	人	1,000	26	D	
				吹奏楽・合唱コンクール県大会等参加補助団体数	団体	36	12	D	吹奏楽・合唱コンクール県大会等参加補助者数	人	350	147	D	

政策項目No.33：豊かなスポーツライフの振興

1 みんなで目指す姿

県民一人ひとりが、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じてスポーツを楽しむことができる環境が整い、誰もが「する、みる、ささえる」スポーツに親しむ機会や場が増えています。

また、平成 28 年に本県での開催が予定されている国民体育大会（以下「岩手国体」という。）を、東日本大震災津波からの復興のシンボルと位置付け、開催に向けて、選手強化はもとより、「県民」、「企業」、「団体」等との協働を基本とした、様々な新しい取組が行われています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進	1	5,440	5,211	0	3,826	0	1,385
(2) 中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進	8	281,627	260,062	0	34,658	0	225,404
(3) スポーツ医・科学サポート体制の充実	0	0	0	0	0	0	0
(4) 岩手国体等の開催に向けた県民参加の促進	4	1,797,188	1,075,155	0	73,085	0	1,002,070

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
71 スポーツ実施率※ ¹ (週1回以上のスポーツ実施率)	%	38.1	52	46	47.1	A	A
72 国民体育大会天皇杯得点順位	位	33	12	20	39	D	A

- スポーツ実施率（週1回以上のスポーツ実施率）の達成度は【A】となりました。
- 国民体育大会天皇杯得点順位は、東日本大震災津波の影響により、平成 23 年度に国体強化事業が一時中止となったほか、学校や市町村の体育施設の多くが長期間使用できないなど、選手を取りまく練習環境が悪化し、現在もその影響が尾を引いているため、39 位にとどまり、達成度は【D】となりました。
- 推進方策指標 4 指標は、「達成」が 3 指標（75.0%）、「遅れ」が 1 指標（25.0%）となりました。

特記事項

- 平成 25 年県民意識調査によると、「県出身スポーツ選手の活躍」の重要度は 44 位、満足度は 5 位となり、ニーズ度は 45 位となっています。

【用語解説】

- ※¹ スポーツ実施率
週1回以上スポーツをした成人の割合。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）

【推進方策指標の達成度】	【平成 26 年度目標の達成に向けた推進方策指標の状況】																														
<p>遅れ【D】 25.0% 1 指標</p> <p>達成【A】 75.0% 3 指標</p> <p>4 指標</p>	<p style="text-align: right;">H26 目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0.0</th> <th>25.0</th> <th>50.0</th> <th>75.0</th> <th>100.0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合型地域スポーツクラブ会員数 (全戸加入除く)</td> <td colspan="5">123.2</td> </tr> <tr> <td>国民体育大会天皇杯得点獲得競技数</td> <td colspan="5">63.3</td> </tr> <tr> <td>県内指導者の公認資格取得数</td> <td colspan="5">121.1</td> </tr> <tr> <td>アスレティックトレーナー派遣数(述べ人数)</td> <td colspan="5">59.1</td> </tr> </tbody> </table>		0.0	25.0	50.0	75.0	100.0	総合型地域スポーツクラブ会員数 (全戸加入除く)	123.2					国民体育大会天皇杯得点獲得競技数	63.3					県内指導者の公認資格取得数	121.1					アスレティックトレーナー派遣数(述べ人数)	59.1				
		0.0	25.0	50.0	75.0	100.0																									
総合型地域スポーツクラブ会員数 (全戸加入除く)	123.2																														
国民体育大会天皇杯得点獲得競技数	63.3																														
県内指導者の公認資格取得数	121.1																														
アスレティックトレーナー派遣数(述べ人数)	59.1																														

(1) スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
270 総合型地域スポーツクラブ会員数(全戸加入除く)	人	5,200	6,400	5,800	6,678	A	D

- 総合型地域スポーツクラブ会員数(全戸加入除く)の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
★		生涯スポーツ推進費(生涯スポーツ推進プラン)(スポーツ健康課)	5,211	広域スポーツセンター指導員派遣市町村数	市町村	33	33	A	派遣延べ回数	回	32	33	A

(2) 中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
271 国民体育大会天皇杯得点獲得競技数	競技	19	30	23	19	D	A
272 県内指導者の公認資格取得数	人	2,196	2,400	2,300	2,443	A	A

- 国民体育大会天皇杯得点獲得競技数は、東日本大震災津波の影響により、平成23年度に国体強化事業が一時中止となったほか、学校や市町村の体育施設の多くが長期間使用できないなど、選手を取りまく練習環境が悪化し、現在もその影響が尾を引いているため、19競技にとどまり、達成度は【D】となりました。
- 県内指導者の公認資格取得数の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		岩手県高等学校体育連盟補助(スポーツ健康課)	13,780	全国高校総体出場競技数	競技	33	33	A	全国高校総体への派遣人数	人	884	884	A
		岩手県中学校体育連盟補助(スポーツ健康課)	5,600	全国中学校体育大会出場競技数	競技	17	17	A	全国中学校体育大会への派遣人数	人	332	332	A
★		いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費補助(スポーツ健康課)	28,638	県中総体・新人大会出場競技数	競技	26	26	A	県中総体・新人大会出場補助者数	人	1,071	1,071	A
				県高総体・新人大会出場競技数	競技	48	48	A	県高総体・新人大会出場補助者数	人	2,650	2,650	A
				東北中学校体育大会出場競技数	競技	8	8	A	東北中学校体育大会出場補助者数	人	161	161	A
				東北高校選手権大会出場競技数	競技	19	19	A	東北高校選手権大会出場補助者数	人	298	298	A
				全国中学校体育大会出場競技数	競技	6	6	A	全国中学校体育大会出場補助者数	人	47	47	A
				全国高校総体出場競技数	競技	16	16	A	全国高校総体出場補助者数	人	131	131	A
		競技力向上対策事業費(いわてアスリート強化事業費)(スポーツ健康課)	73,822	強化事業実施競技延べ団体数	団体	156	156	A	強化事業参加人数	人	1,779	1,779	A
		競技力向上対策事業費(全国大会派遣費)(スポーツ健康課)	35,698	全国高校総体及び全国中学校体育大会出場競技数	競技	50	50	A	全国高校総体及び全国中学校体育大会への派遣人数	人	1,216	1,216	A
		体育大会開催、派遣事業費(東北大会派遣費)(スポーツ健康課)	20,637	東北総合体育大会選手派遣競技数	競技	38	38	A	東北総合体育大会選手派遣人数	人	895	895	A
		競技力向上対策事業費(いわてスーパーキッズ発掘・育成事業)(スポーツ健康課)	12,827	体カテスト(チャレンジ2)の開催回数	回	7	7	A	体カテスト(チャレンジ2)参加児童数	人	700	700	A
				スペシャルスクールの開催回数	回	32	32	A	スペシャルスクール参加児童数	人	1,800	1,800	A
緊		第71回国民体育大会選手強化事業費(スポーツ健康課)	69,176	成年該当年齢選手強化合宿開催回数	回	-	-	-	成年該当年齢選手強化合宿参加人数	人	-	-	-
				選手発掘育成スクール開催回数	回	-	-	-	選手発掘育成スクール参加人数	人	-	-	-
				強化練習会・遠征合宿実施競技団体	団体	18	18	A	強化練習会・遠征合宿参加人数	人	488	488	A

(3) スポーツ医・科学サポート体制の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
273 アスレティックトレーナー※2派遣数(延べ人数)	人	154	452	306	330	A	A

- アスレティックトレーナー派遣数(延べ人数)の達成度は【A】となりました。

【用語解説】

※2 アスレティックトレーナー

スポーツ現場における選手に対するサポートスタッフ(傷害予防等)。

(4) 岩手国体等の開催に向けた県民参加の促進

- 第71回国民体育大会及び第16回全国障害者スポーツ大会を、東日本大震災津波からの復興のシンボルとして位置付け、「県民」、「企業」、「団体」等との協働を基本とする新しい岩手型の大会として開催するための準備に取り組み、大会の愛称やスローガンの決定、競技施設整備計画（第3次）の策定などを行いました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
緊		第71回国民体育大会開催準備費【国体室】	1,017,976	専門委員会等の開催	回	21	21	A	募金・企業協賛件数	人件	1,000	962	B
				-	-	-	-	募金・企業協賛金額	千円	-	-	-	
		第71回国民体育大会宿泊調査費【国体室】	8,825	宿泊施設調査票の送付及び集計	送付箇所	778	787	A	国体提供可能宿泊施設数	箇所	389	474	A
		第71回国民体育大会市町村競技施設整備費補助【国体室】	46,374	市町村競技施設整備費の補助	箇所	6	6	A	競技可能施設数	箇所	6	6	A
	第16回全国障害者スポーツ大会開催準備費【障がい保健福祉課】	1,980	準備委員会の開催	回	3	3	A	基本計画の策定	式	-	-	-	

VII 社会資本・公共交通・情報基盤

政策項目No.38：安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備

1 みんなで目指す姿

東日本大震災津波により市街地等が被災した沿岸地域では、「多重防災型」の復興まちづくりとともに、湾口防波堤や防潮堤などの津波防災施設の復旧・整備や、津波から安全かつ適確に避難するためのソフト施策などによる防災都市・地域づくりが進んでいます。

地震や洪水、土砂災害などから県民の生命・財産を守る災害防止施設の整備や、県民が不測の事態に対応して自ら適切に判断し行動できるようにするためのソフト施策が進んでいます。

災害時の緊急輸送や地域医療を支援する信頼性の高い道路ネットワークの構築、通学路への歩道整備、住宅や学校施設及び医療機関の耐震化など、日常の生活を支える社会資本の整備が進んでいます。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 多重防災型まちづくりの推進	3	9,260,846	511,298	258,378	154	0	252,766
(2) 地震・洪水・土砂災害対策の推進	17	19,994,705	10,822,575	2,811,244	984,353	6,067,100	959,878
(3) 日常生活を支える安全な道づくりの推進	3	16,945,315	6,960,426	3,100,016	0	3,105,000	755,410
(4) 信頼性の高い道路ネットワークの確立	2	1,008,507	314,372	0	0	312,000	2,372

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	
						(H23)	(H24)
86 新しい津波防災の考え方に基づいた津波防災施設の整備率	%	26.7	68.3	30.3	27.2	D	A
87 河川整備率	%	47.9	48.3	48.1	48.4	A	A
88 土砂災害のおそれがある区域に立地する災害時要援護者関連施設 ^{※1} の土砂災害警戒区域等指定率	%	30.0	100.0	65.0	38.6	D	D
89 通学路(小学校)における歩道整備率	%	73.7	75.6	74.1	74.4	A	A

- 新しい津波防災の考え方に基づいた津波防災施設の整備率は、調査・設計や市町村の復興まちづくり計画との調整などに時間を要したことから、達成度は【D】となりました。
- 河川整備率及び通学路（小学校）における歩道整備率の達成度は【A】となりました。
- 土砂災害のおそれがある区域に立地する災害時要援護者関連施設の土砂災害警戒区域等指定率は、指定に向けた調査は実施したものの、県において震災からの復旧・復興に向けた取組を最優先としたことから、前年度から2%増にとどまり、達成度は【D】となりました。
- 教育委員会が所管する推進方策指標1指標は、「やや遅れ」となりました。

特記事項

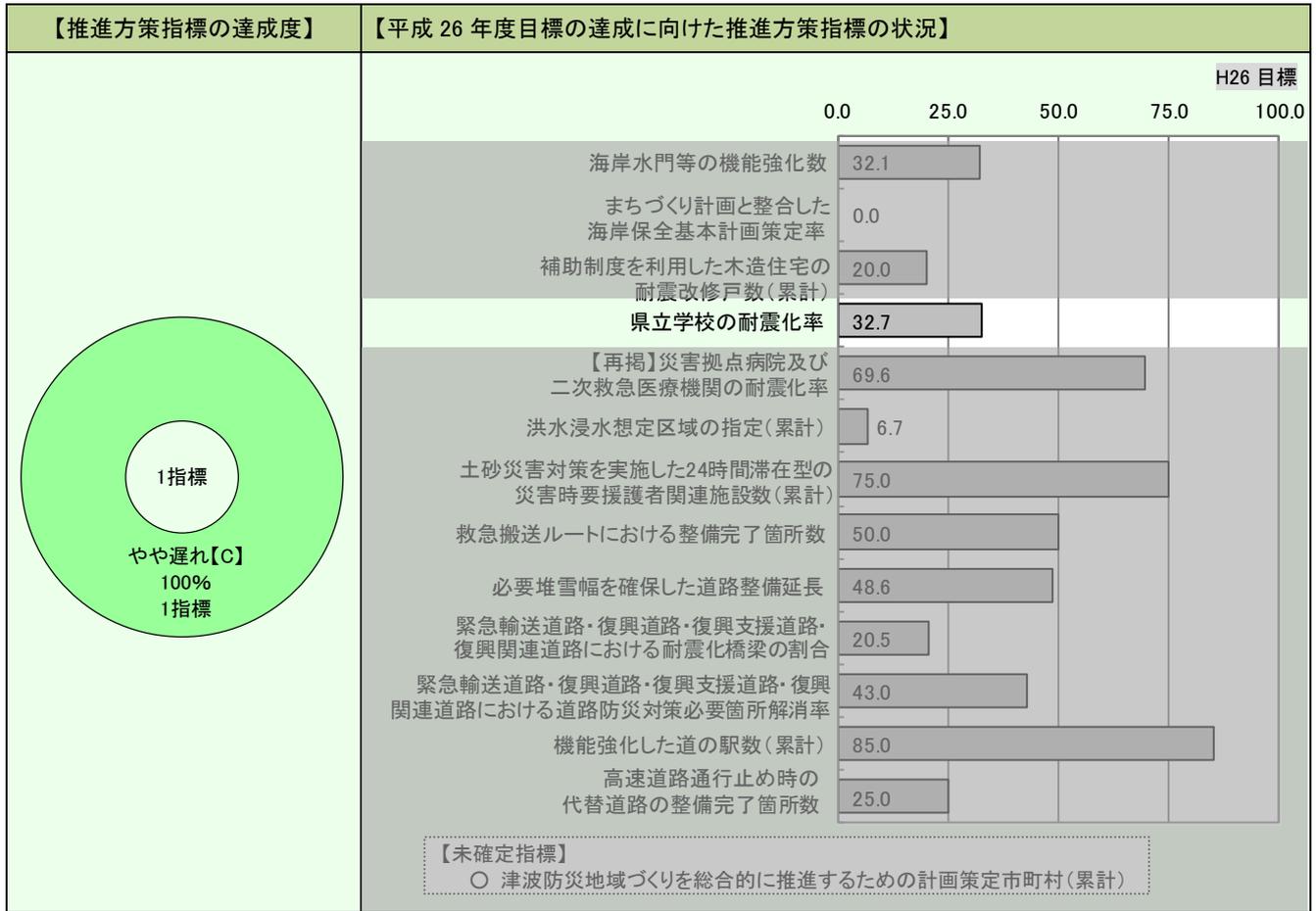
- 平成25年県民意識調査によると、「災害に強く安心して暮らせる県土」の重要度は4位、満足度は38位となり、ニーズ度は3位となっています。

【用語解説】

※1 災害時要援護者関連施設

災害時の一連の避難行動をとることに支援を要する「災害時要援護者」が利用している施設であり、老人福祉施設、病院、障害者支援施設、児童福祉施設、幼稚園等を指す。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 多重防災型まちづくりの推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度 (H23)
315 海岸水門等の機能強化数	箇所	25	78	35	42	A
316 まちづくり計画と整合した海岸保全基本計画策定率	%	—	100	50	0	D
317 津波防災地域づくりを総合的に推進するための計画策定市町村(累計)	市町村	—	12	0	0	—

- 海岸水門等の機能強化数の達成度は【A】となりました。
- まちづくり計画と整合した海岸保全基本計画策定率は、関係機関との調整が必要となり、策定が平成25年度にずれ込んだことから、達成度は【D】となりました。
- 市町村における津波防災地域づくりを総合的に推進するための計画策定に向けて、市町村と意見交換を行うなどの取組を行いました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		海岸高潮対策事業費【漁港漁村課】	254,621	実施地区数	地区	4	8	A	防潮堤整備延長(累計)	m	—	—	—
	★	海岸事業【河川課】	82,774	防潮堤整備数	箇所	8	10	A	津波防災施設の整備率	%	15.0	14.0	B
	★	三陸高潮対策事業【河川課】	173,903	河川水門・堤防整備数	箇所	6	12	A	津波防災施設の整備率	%	15.0	14.0	B

(2) 地震・洪水・土砂災害対策の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	
						(H23)	(H24)
318 補助制度を利用した木造住宅の耐震改修戸数(累計)	戸	270	860	570	388	D	D
319 県立学校の耐震化率	%	86.0	97.3	91.0	89.7	C	C
320 【再掲】災害拠点病院及び二次救急医療機関の耐震化率	%	53.3	75.0	65.0	68.4	A	A
321 洪水浸水想定区域の指定(累計)	市町村	18	33	23	19	D	D
322 土砂災害対策を実施した24時間滞在型の災害時要援護者関連施設数※2(累計)	箇所	12	16	14	15	A	A

- 補助制度を利用した木造住宅の耐震改修戸数(累計)は、県において震災からの復旧・復興に向けた取組を最優先としたことにより、例年実施している普及活動や戸別訪問が実施できなかったことから、68戸増加にとどまり、達成度は【D】となりました。
- 県立学校の耐震化率は、震災により学校施設災害復旧を優先したため、達成度は【C】となりました。
- 災害拠点病院及び二次救急医療機関の耐震化率並びに土砂災害対策を実施した24時間滞在型の災害時要援護者関連施設数(累計)の達成度は【A】となりました。
- 洪水浸水想定区域の指定(累計)は、県において震災からの復旧・復興に向けた取組を最優先としたため、1町増加にとどまり、達成度は【D】となりました。

【用語解説】

※2 24時間滞在型の災害時要援護者関連施設

災害時要援護者が24時間利用する施設のことをいい、入院患者が滞在する病院、高齢者が入居する老人ホーム等を指す。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標			
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		国土調査事業費【農村計画課】	407,365	第6次10箇年計画に基づく計画的な地籍調査の実施	%	83.1	83.4	A	着実な調査完了	市町村	14	14	A
再		防災ダム事業費、ため池等整備事業費、土地改良施設耐震対策事業費、海岸保全施設整備事業費【農村建設課】	(1,291,668)	実施地区数	地区	16	16	A	農地防災対策実施箇所数(累計)	箇所	403	398	B
再		治山事業費【森林保全課】	(1,909,488)	実施地区数	地区	55	55	A	山地災害危険地区着手率	%	-	-	-
				-	-	-	-	-	山地災害防止機能が確保された集落数	集落	921	921	A
	★	木造住宅総合耐震支援事業費【建築住宅課】	8,890	県民向け講習会の開催(累計)	回	12	12	A	耐震改修実施戸数(累計)	戸	570	388	D
				助成制度の運用に係る連絡会議の実施(累計)	回	12	12	A	-	-	-	-	-
再		いわて元気のある工務店支援事業費【建築住宅課】	(13,240)	岩手型住宅に関する広報	回	1	1	A	岩手型住宅の趣旨に賛同する事業者数	社	50	52	A
		水防警報施設整備事業費【河川課】	61,425	保守点検箇所数	箇所	26	26	A	災害時システム稼働率	%	100	100	A
	★	がけ地近接危険住宅移転事業費補助【建築住宅課】	195	事業実施戸数	戸	3	1	D	事業実施戸数	戸	3	1	D
	★	河川事業【河川課】	3,525,841	河川改修実績箇所	箇所	24	21	B	河川整備率	%	48.1	48.4	A
	★	河川等災害復旧事業費【砂防災害課】	1,699,491	災害復旧実施箇所	箇所	-	-	-	災害復旧実施箇所	箇所	-	-	-
	★	直轄河川等災害復旧事業費負担金【砂防災害課】	15,894	直轄災害復旧実施箇所	箇所	-	-	-	直轄災害復旧実施箇所	箇所	-	-	-
		ダム事業【河川課】	3,729,278	ダムの建設及び改良箇所数	箇所	4	4	A	河川整備率	%	48.1	48.4	A
	★	砂防事業【砂防災害課】	458,580	砂防事業概成箇所数	箇所	2	1	D	土砂災害危険箇所整備率(砂防)	%	8.7	8.7	A
		総合流域防災事業費【砂防災害課】	169,017	基礎調査実施箇所数	箇所	4,700	4,067	B	土砂災害警戒区域指定箇所数(累計)	箇所	2,850	2,590	B
		地すべり対策事業費【砂防災害課】	25,016	地すべり事業概成箇所数	箇所	-	-	-	土砂災害危険箇所整備率(地すべり)	%	8.9	8.9	A
	★	急傾斜地崩壊対策事業【砂防災害課】	127,735	急傾斜地崩壊対策事業概成箇所数	箇所	1	1	A	土砂災害危険箇所整備率(急傾斜)	%	15.1	15.1	A
		校舎大規模改修事業費(校舎大規模改修事業)【教育企画室】	96,969	学校施設の耐震化	箇所	1	1	A	県立学校の耐震化率	%	91.0	89.7	C
		校舎大規模改修事業費(屋内運動場大規模改修事業)【教育企画室】	11,474	学校施設の耐震化	箇所	-	-	-	県立学校の耐震化率	%	91.0	89.7	C
		校舎大規模改修事業費(産業教育施設大規模改修事業)【教育企画室】	12,797	学校施設の耐震化	箇所	1	1	A	県立学校の耐震化率	%	91.0	89.7	C
	★	学校施設災害復旧事業費【教育企画室】	201,415	県立学校施設の災害復旧	箇所	5	5	A	復旧完了施設数	箇所	5	5	A
	★	学校施設災害復旧事業費(県立高田高等学校災害復旧事業)【教育企画室】	271,193	県立学校施設の災害復旧	箇所	-	-	-	復旧完了施設数	箇所	-	-	-

(3) 日常生活を支える安全な道づくりの推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
							(H23)
323 救急搬送ルートにおける整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	1	9	3	5	A	—
324 必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	12.5	91.9	36.4	51.1	A	A

- 救急搬送ルートにおける整備完了箇所数(H22以降累計)及び必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
再		地域連携道路整備事業費【道路建設課、道路環境課】	(4,412,795)	救急搬送ルートにおける整備完了箇所数	箇所	2	4	A	救急搬送ルートにおける整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	3	5	A		
				必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	8	10	A	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	36.4	51.1	A		
再		物流支援交流促進道路整備事業費【道路建設課】	(220,879)	救急搬送ルートにおける整備完了箇所数	箇所	2	4	A	救急搬送ルートにおける整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	3	5	A		
				必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	8	10	A	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	36.4	51.1	A		
再		地方特定道路整備事業費【道路建設課、道路環境課】	(239,057)	必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	8	10	A	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	36.4	48.9	A		
再		地域道路整備事業費【道路建設課】	(366,303)	必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	8	10	A	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	36.4	51.1	A		
		道路環境改善事業費【道路環境課】	5,522,488	通学路(小学校)における歩道設置延長	km	3.6	4.3	A	通学路(小学校)における歩道設置率	%	74.1	74.4	A		
				必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	8	10	A	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	36.4	51.1	A		
		県単独凍雪害対策事業費【道路環境課】	210,260	必要堆雪幅を確保した道路の整備完了箇所数(一部供用を含む)	箇所	8	10	A	必要堆雪幅を確保した道路整備延長(H22以降累計)	km	36.4	51.1	A		
		県単独交通安全施設整備事業費【道路環境課】	1,227,678	通学路(小学校)における歩道設置延長	km	3.6	4.3	A	通学路(小学校)における歩道設置率	%	74.1	74.4	A		

(4) 信頼性の高い道路ネットワークの確立

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	年度目標値 (H24)	実績値 (H24)	達成度	(H23)
							(H23)
325 緊急輸送道路・復興道路・復興支援道路・復興関連道路における耐震化橋梁の割合	%	56.9	70.1	59.3	59.6	A	A
326 緊急輸送道路・復興道路・復興支援道路・復興関連道路における道路防災対策必要箇所解消率	%	24	57	38	38.2	A	A
327 機能強化した道の駅数(累計)	駅	0	20	6	17	A	—
328 高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	1	13	4	4	A	A

- 緊急輸送道路等における耐震化橋梁の割合、緊急輸送道路等における道路防災対策必要箇所解消率、機能強化した道の駅数(累計)及び高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数(H22以降累計)の達成度は全て【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
再		地域連携道路整備事業費【道路建設課、道路環境課】	(4,412,795)	高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数	箇所	0	0	—	高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	4	4	A		
再	★	地方特定道路整備事業費【道路建設課、道路環境課】	(239,057)	高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数	箇所	0	0	—	高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	4	4	A		
				緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策完了箇所数	箇所	11	11	A	緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策必要箇所解消率	%	38.0	38.2	A		
再		地域道路整備事業費【道路建設課】	(366,303)	高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数	箇所	0	0	—	高速道路通行止め時の代替道路の整備完了箇所数(H22以降累計)	箇所	4	4	A		

政策項目 No.38

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成24年度			指標名	単位	平成24年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
再	★	道路環境改善事業費【道路環境課】	(5,522,488)	緊急輸送道路、復興道路等における耐震化完了橋梁数	橋	4	5	A	緊急輸送道路、復興道路等における耐震化橋梁の割合	%	59.3	59.6	A
				緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策完了箇所数	箇所	11	11	A	緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策必要箇所解消率	%	38.0	38.2	A
				機能強化した道の駅数	駅	6	17	A	機能強化した道の駅数	駅	6	17	A
	★	県単独橋りょう補強事業費【道路環境課】	10,658	緊急輸送道路、復興道路等における耐震化完了橋梁数	橋	4	5	A	緊急輸送道路、復興道路等における耐震化橋梁の割合	%	59.3	59.6	A
	★	県単独道路災害防除事業費【道路環境課】	303,714	緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策完了箇所数	箇所	11	11	A	緊急輸送道路、復興道路等における道路防災対策必要箇所解消率	%	38.0	38.2	A